

世 界 史

(問 題)

2018年度

〈2018 H30123424〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。終了の指示に従わない場合は、答案のすべてを無効とするので注意すること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔Ⅰ〕 次の文章を読んで、設問に答えなさい。設問 1～3 は、マーク解答用紙の所定欄にそれぞれ一つマークし、設問 4 は、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

新石器革命、都市革命と呼ばれる人類史の 2 つの変化は、古代オリエント世界で最初に起こった。前者は、食料を狩猟採集に頼る生活から、農耕牧畜による生産に依拠する生活への移行のことであり、後者が、国家を形成し、文明を持ったことである。文明の指標としては文字の発明を挙げることがあるが、それを持たない文明もあった。都市革命期に成立した国家や王権については、メソポタミアでは都市国家が分立する時代が長く続くが、エジプトでは、それより早く、D を都としてナイル川流域を統合する王権が成立した。

設問 1 下線部 A に関連して、西アジアにおける初期農耕民について正しいものはア～エのどれか。

- ア 栽培したのは、おもに大麦・小麦の麦類であった。
- イ 耕作は、中小の河川を利用した灌漑農耕であった。
- ウ 石器に代えて青銅製の農具を使った。
- エ 飼育した動物には、小家畜のヒツジ、ヤギと、大家畜のウマ、ウシがあった。

設問 2 下線部 B に関連して、最古の文字が発見され、この時期を指す名称にもなった都市は、ア～エのどれか。

- ア ウル イ ウルク ウ エリドゥ エ バビロン

設問 3 下線部 C に関連して、文字を持たなかった文明は、ア～エのどれか。

- ア ミケーネ文明 イ クレタ文明 ウ マヤ文明 エ インカ文明

設問 4 D に入る適切な地名を記しなさい。

〔Ⅱ〕 以下の文を読んで、各設問に答えなさい。設問 1 は記述解答用紙の所定欄に記し、設問 2～5 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

秦の滅亡後、劉邦は項羽を破って天下を再統一し、漢（前漢）を建国した。しかし、建国後まもなく匈奴に大敗し、事実上その従属下におかれた。第 7 代の武帝は匈奴に対する反撃をはかり、西北方面では張騫を大月氏や（あ）に派遣し、西域に対する外交政策を展開した。同時に、匈奴と戦ってその勢力を駆逐し、河西地方を確保して四郡を置き、シルクロードを開拓した。南方方面では南越を滅ぼし、九郡を置いた。また東北方面でも衛氏朝鮮を攻略して四郡を置いた。

こうして漢は武帝のとき空前の大領土が形成されたが、しかし一連の対外戦争は深刻な財政難をもたらした。そのため、財政難を打開する新政策が行われたが、かえって小農民の没落をすすめ、社会不安を助長する結果となった。武帝の死後、朝廷では外戚と宦官の権力争いが激しくなり、地方では豪族が力をのばした。

後 8 年、外戚の王莽は漢をうばって新を建国した。王莽は儒家の経典に依拠して、官僚機構や貨幣制度を改め、全国の土地を国有にし、奴隷の売買を禁止し、商業を統制した。しかしこれらの政策も、ますます社会を混乱させる結果となり、豪族の反抗や農民反乱を招き、また対外政策の失敗から周辺諸国・諸民族の離叛や侵入があいつぎ、新は 15 年で滅亡した。

設問 1 空欄（あ）に入る最も適切な語句を記しなさい。

設問 2 下線部 a の南越に関して、不適切なものはどれか。

- ① 秦の滅亡を機に、漢人地方官が越人を支配して建国した国家である。
- ② 広東・広西・ベトナム北部を領有した。
- ③ 広州を都として、南海貿易の利を独占した。
- ④ 南越の滅亡後、もとの領域内の南海郡に、大秦王安敦の使者が入貢した。

設問 3 下線部 b に関して、不適切なものはどれか。

- ① 衛氏朝鮮は、燕の亡命者衛満が箕氏朝鮮をうばって建国した国家と伝えられる。
- ② 朝鮮四郡とは、楽浪郡、真番郡、臨屯郡、玄菟郡のことである。
- ③ 楽浪郡は四郡の中心で、現在の平壤（ピョンヤン）付近である。
- ④ 帯方郡は、前漢末に楽浪郡の南部を割いて新設された郡である。

設問 4 下線部 c に関して、この政策を推進した人物は誰か。

- ① 李斯 ② 桑弘羊 ③ 董仲舒 ④ 鄭玄

設問 5 下線部 d に関して、儒家の經典の「五経」に含まれないものはどれか。

- ① 『論語』 ② 『易经』 ③ 『礼記』 ④ 『春秋』

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで設問に答えなさい。設問 1 ～ 4 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 5、6 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

10世紀以降、東アジアに勃興した幾つかの国家では、新たな文字が創造され、それらの国家の文書行政に漢字とともに用いられた。このような言語政策の背景には、自らの領域内に存在する多様な文化・社会構造をもつ諸集団を統合する必要性があった。契丹の遼、タングートの西夏、女真の金^A、そしてモンゴルの元は、ウイグル文字・漢字など従来の文字体系を参照しつつ、それぞれ新たな文字を制定した。元、イル＝ハン国、キプチャク＝ハン国、チャガタイ＝ハン国などにより構成されたモンゴル帝国^Cは、多言語・多文化を統合するこれらの国家の中でも最大の領域をもつに至り、その支配下でユーラシア大陸の東西の文化交流が盛んに行われた。当時の中国において、イスラームの天文学を取り入れてつくられた暦である E は、そうした交流の結果のひとつである。その後、16世紀末に女真諸部族を統合したヌルハチにより、1616年に建国された F でも満州文字が制定され、やがてモンゴル・チベット・東トルキスタン・中国本土などを統合する国家の公用文字のひとつとなってゆく。

設問 1 下線部 A について、関連する説明で正しいものはどれか。

- ア 金は、征服した地域では全ての住民を猛安・謀克という軍事・社会組織に再編成した。
- イ 元は、征服した地域の従来の宗教や統治制度を徹底的に解体した。
- ウ 西夏は、カラハン朝を滅ぼし、イスラーム教徒を統治下においた。
- エ 遼は、部族制と州県制が併存する二重の統治体制を敷いた。

設問 2 下線部 B の「ウイグル文字」を用いた「ウイグル」について、その説明として誤っているものはどれか。

- ア 当初は突厥に支配されていたが、744年に東突厥を倒して建国された。
- イ ソグド人と協力関係にあり、中央アジアのオアシス都市を結ぶ「オアシスの道」からの利益を得た。
- ウ タラス河畔の戦いで、唐軍を打ち破った。
- エ マニ教を盛んに信仰した。

設問 3 下線部 C について、それぞれの文字の説明として誤っているものはどれか。

- ア 契丹文字はウイグル文字の影響を排除し、漢字のみに基づいてつくられた。
- イ 西夏文字は、漢字にならってつくられた。
- ウ 女真文字は大字（表意文字）と小字（表音文字）からなり、大字は契丹文字と漢字をもとにつくられた。
- エ 元の世祖フビライの命を受けたパスパによりつくられたパスパ文字は、チベット文字にならってつくられた。

設問 4 下線部Dについて、モンゴル帝国に征服されていない国家はどれか。

ア ホラズム＝シャー朝 イ 陳朝（大越） ウ 大理 エ 西夏

設問 5 に入る適当な語句を記せ。

設問 6 に入る適当な語句を記せ。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。設問 1， 4 は記述解答用紙の所定欄に記し，設問 2， 3， 5 はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

アラブの史書において、クルド人の存在は古くから知られてきた。彼らはムスリム系諸王朝の支配下にあっただけでなく、王朝を建設して一帯を支配することもあった。クルド人のサラーフ＝アッディーン（サラディン）が 朝を樹立したのは、その代表例である。その後、クルド人が多く居住していた地域は、^Bオスマン帝国やサファヴィー朝などの支配下に入ったが、クルド人はそれらの軍事力の一翼を担ったり、一定の自治を認められたりすると共に、叛乱を起こすこともあった。

19世紀以降、^Cオスマン帝国支配下の諸民族の間に独立の動きが広がり、クルド人の間にも自治や独立を求める機運が高まり始めた。そして、1920年、第一次世界大戦後にオスマン帝国が連合国と締結した 条約の中には、クルド人の自治・独立につながる条項が含まれるに至った。しかし、その後、ムスタファ＝ケマルらの新政府はこれを破棄し、1923年に新条約を結んだが、そこではクルド人の自治・独立に関連する条項が削除されていた。

その後、1946年にクルド人勢力による共和国の樹立が宣言されたこともあったが、短期間で崩壊させられた。こうして、クルド人が多く集住する地域は、トルコ、イラク、イラン、シリアなどによって国境線で分断されたまま、今日に至っている。彼らの人口は、総計すると数千万人に達するとも言われるが、いずれの国家においてもマイノリティーの立場にあり、^E戦乱のたびに多くの難民を出してきた。

設問 1 に入る王朝の名を記しなさい。

設問 2 下線部Bに関連して述べた次の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- ア オスマン帝国は、メッカとメディナの保護権を獲得した。
- イ オスマン帝国は、アンカラの戦いでティムール軍を撃破した。
- ウ アッバース 1 世は、イスファハーンにイマームのモスクを建立した。
- エ サファヴィー朝は、1622年、ポルトガルからホルムズ島を奪取した。

設問 3 下線部Cに関連して述べた次の文ア～エのうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ア 1830年のベルリン会議で、ギリシアの独立が承認された。
- イ オーストリアは、サン＝ステファノ講和条約で、ボスニア＝ヘルツェゴヴィナの占領と行政権を認められた。
- ウ シリアでは、19世紀、アラブ文化の復興運動が起こった。
- エ ムハンマド＝アリーは、エジプト＝トルコ戦争でオスマン帝国に敗北した。

設問 4 に入る条約の名を記しなさい。

設問 5 下線部 E に関連して、次の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- ア イランとイラクは、イラン革命後の1980年代に交戦した。
- イ イラクはサダム＝フセイン大統領の下で、クウェートへ侵攻した。
- ウ イラクでは、アラブの統一と社会主義を掲げるバース党が政権を掌握した。
- エ 米国はフランスと共に、国連決議に基づいて、2003年にイラクを攻撃した。

〔V〕 以下の文章を読み、設問に答えなさい。設問 1， 4， 5 はマーク解答用紙の所定欄にマークし、設問 2， 3 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

中世ヨーロッパでは宗教的動機による戦争や暴力が至る所にみられた。11世紀末には十字軍がエルサレムの奪還を目指す聖戦として開始され、中東には十字軍国家が創設された。十字軍には国王も^aこぞって参加したが、第三回十字軍ではドイツ王 **b** が十字軍の途上で亡くなり、ドイツの国政は一時混乱した。一方で、イベリア半島でのレコンキスタもキリスト教世界回復の聖戦とみなされたが、15世紀末に **c** 朝が滅ぼされるとレコンキスタは終了した。また東欧スラヴ世界でも、カトリック布教の旗印のもとで諸侯領や国家の領土拡大が行われた。^d一方でヨーロッパ世界の内部では、教会権力が^e異端審問制度を創設し、拷問などの暴力を用いて信仰の統一が目指された。

設問 1 下線部 a に関連する記述で誤りを含むものを一つ選びなさい。

- イ この十字軍は教皇ウルバヌス 2 世が提唱した。
- ロ この十字軍はエルサレム総主教からの救援要請で始まった。
- ハ この十字軍はフランスの諸侯が中心になって編成された。
- ニ この十字軍はコンスタンティノープルから陸路でエルサレムへと向かった。

設問 2 空欄 **b** に入る国王名を記しなさい。

設問 3 空欄 **c** に入る王朝名を記しなさい。

設問 4 下線部 d に関連する記述として正しいものを一つ選びなさい。

- イ ドイツ騎士団は13世紀にバルト海沿岸部に移り、カトリックを布教するとともに騎士団領を形成した。
- ロ スラヴ民族ではボヘミア、ポーランド、セルビアがカトリックに改宗し、教皇の支援を得て領土を拡大した。
- ハ ハンガリー王国は10世紀にバツラフが初代の王位を教皇から認められ、カトリック国家として発展した。
- ニ 12世紀にリトアニアとポーランドが同君連合となり、リトアニアはカトリックに改宗した。

設問 5 下線部 e に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- イ ドミニコ会は異端審問で中心的な役割を果たした。
- ロ 近世のスペイン王国では、イスラーム・ユダヤの両教徒を排除し強固なカトリック国家を作ろうとして異端審問が活発に行われた。
- ハ 異端審問制度は何より、カトリック教会を脅かした民衆の宗教運動への対処として生み出された。
- ニ アッシジのフランチェスコのグループは当初は異端とされたが、教皇ボニファティウス 8 世に直訴しフランチェスコ会として公認された。

〔Ⅵ〕 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。設問 1 ～ 3 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 4 は記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

19世紀後半以降、ヨーロッパ列強は帝国主義政策を進め、国家的発展を遂げた。とくにイギリスの領土拡大は著しく、1920年代^a大英帝国の版図は世界の陸地面積の20%を超えたと見られる。しかし、イギリスにおいて帝国の観念は、すでにテューダー朝の時代において生まれていたと考えられる。実質的な植民地化を進めていたアイルランドに加えて^b16, 17世紀カリブ海、北米に大西洋帝国が誕生した。しかし^c13植民地の喪失により、「第一次帝国」の時代が終わると、帝国拡大の方向は主にアジア、アフリカ大陸に向けられた。20世紀に入っても、第一次世界大戦後委任統治領という名目で帝国はさらに拡大していったが、帝国の初期に植民地化されたアイルランドで、1910年代以降激しい独立運動が起こり^d大英帝国の繁栄に陰りが見えたことは、皮肉と言うしかない。

設問 1 下線部 a に関連し、19世紀後半のヨーロッパ帝国主義と関係のないものはどれか。

- イ ロスチャイルド家による金融資本の成長
- ロ 第一次バルカン戦争勃発
- ハ コンツェルン、クルップ社の成長
- ニ イギリス、スエズ運河会社株買収

設問 2 下線部 b に関連して16世紀～17世紀のイギリスによる大西洋帝国建設の歴史において、年代順に古い方から2番目に当たるのはどれか。

- イ イギリス人ドレークのアメリカ大陸西航
- ロ イギリス、ニューアムステルダムをオランダから獲得
- ハ イギリス、ジェームズタウンへの移住開始
- ニ ピルグリム＝ファーザーズ、メイフラワー号で出航

設問 3 下線部 c に関連して、13植民地に当たるものはどれか。

- イ フロリダ ロ オハイオ ハ イリノイ ニ ペンシルヴェニア

設問 4 下線部 d に関連して20世紀初頭のアイルランドの政治状況について、必ず以下の語を用いて120字以内で説明しなさい。
なお、句読点は一字とし、算用数字は2字を一マスに記入すること。

アイルランド自治法 イースター蜂起 北アイルランド

〔Ⅶ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。設問 1 ～ 3, 5 ～ 6 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 4 は記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

第一次世界大戦後のヨーロッパでは、多くの国で過激な民族主義が台頭し、あるいは強権的な政治体制が登場した。レーニンが死去した後のソ連では、スターリンが独裁的な政治を行った。^a東欧やバルカン地域に成立した新興国の多くも、農業不況による経済的打撃や少数民族問題を克服しようとするあまり、独裁や権威主義に向かった。第一次世界大戦の戦勝国でありながら、^b期待したほどに領土を拡大できなかったイタリアでは、ファシスト党が勢力を強め、^c短期間のうちに支配を確立した。

世界恐慌でヨーロッパ各国は大きな被害を受け、イギリスやフランスでもファシズムが支持を集め、ドイツではナチ党が政権を獲得した。政権の座についたヒトラーは体制に異議を唱える人びとを弾圧し、^d国際的な取り決めに無視した拡張主義をとり、さらに^eユダヤ人などを迫害した。^f

設問1 下線部 a に関連して、スターリンが行った政策として、誤りを含むものはどれか。

- イ コミンテルンをつうじて、世界各地の共産主義勢力に影響を及ぼした。
- ロ トロツキーらの政敵を追放したり、抹殺したりした。
- ハ コルホーズやソフホーズの建設を進めた。
- ニ 新経済政策（ネップ）を実行した。

設問2 下線部 b に関連して、第一次世界大戦後の各国の状況として、正しいものはどれか。

- イ ハンガリーでは革命が成功し、第二次世界大戦が始まるまで共産主義政権が続いた。
- ロ バルカン地域ではティトの指導のもとで、南スラヴ系民族がセルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国を建国した。
- ハ ポーランドは独立後にロシアに侵攻し、ベラルーシとウクライナの一部を獲得した。
- ニ ブルガリアは戦勝国となり、ヌイイ条約で新たな領土を獲得した。

設問3 下線部 c に関連して、第一次世界大戦後にイタリアが獲得した都市・地域として、誤っているものはどれか。

- イ ラバロ ロ フィウメ（リエカ） ハ 南チロル ニ トリエステ

設問4 下線部 d に関連して、こうした状況に対応するためにフランスで組織された人民戦線内閣の首相を務めた人物は誰か、人名を答えよ。

設問5 下線部 e に関連して、ドイツの行った対外政策が時代順に古いものから正しく並べられているものはどれか。

- イ ラインラント進駐 → チェコスロヴァキア解体 → ポーランド侵攻 → オーストリア併合
- ロ ラインラント進駐 → オーストリア併合 → チェコスロヴァキア解体 → ポーランド侵攻
- ハ オーストリア併合 → チェコスロヴァキア解体 → ラインラント進駐 → ポーランド侵攻
- ニ オーストリア併合 → ポーランド侵攻 → チェコスロヴァキア解体 → ラインラント進駐

設問6 下線部 f に関連して、ユダヤ人国家の建設に関わる出来事が時代順に古いものから正しく並べられているものはどれか。

- イ イスラエルの建国 → エジプトのスエズ運河国有化宣言 → パレスチナ解放機構（PLO）の創設 → 第一次石油危機
- ロ 第一次石油危機 → エジプトのスエズ運河国有化宣言 → パレスチナ解放機構（PLO）の創設 → イスラエルの建国
- ハ パレスチナ解放機構（PLO）の創設 → イスラエルの建国 → 第一次石油危機 → エジプトのスエズ運河国有化宣言
- ニ エジプトのスエズ運河国有化宣言 → 第一次石油危機 → イスラエルの建国 → パレスチナ解放機構（PLO）の創設

〔Ⅷ〕 以下の文章と図から、空欄A～Cに入る適切な人名をア～キより選んで、マーク解答用紙の所定欄にそれぞれ一つマークしなさい。

19世紀後半から20世紀初頭にかけて、ヨーロッパ絵画の行き詰まりを打開するために、フランスを中心とした多くの画家が、日本美術の様式や技法を参考にした。この動向をジャポニズムと呼ぶ。Aの《タンギー爺さん》(図1)の背景には、たくさんの浮世絵が飾られていて、日本美術の流行をうかがわせる。Bの《笛を吹く少年》(図2)の灰色無地の抽象的な背景も、浮世絵の役者絵を思わせる。Cが繰り返し故郷の「サント＝ヴィクトワール山」(図3)を描いたのは、山を聖なるものとみなす葛飾北斎の富士山連作に遠く影響されたものであろう。

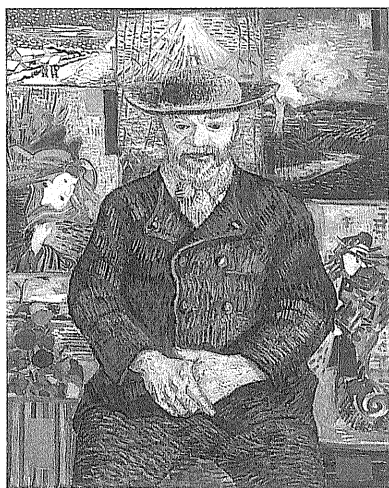


図1 《タンギー爺さん》1887年 パリ，ロダン美術館

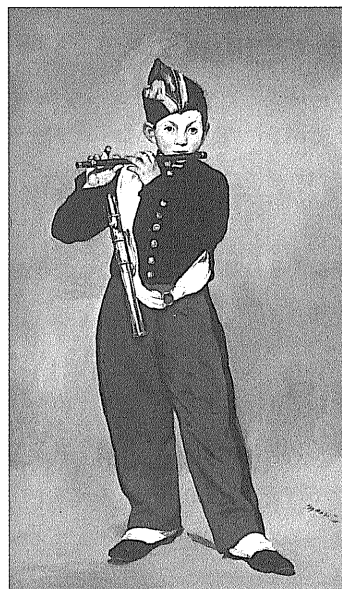


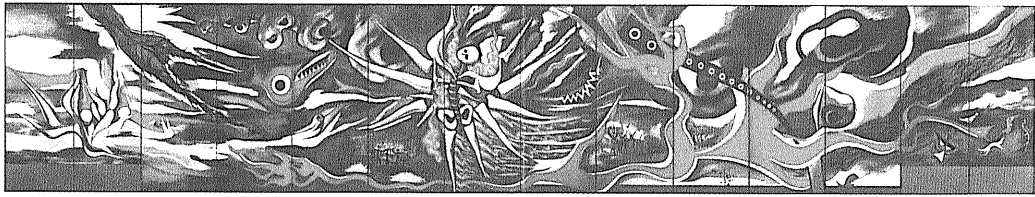
図2 《笛を吹く少年》1866年 パリ，オルセー美術館



図3 《サント＝ヴィクトワール山》1887年頃 ロンドン，コートールド・ギャラリー

ア ルノワール イ セザンヌ ウ モネ エ ゴッホ オ ゴッガン カ マネ キ ミレー

〔Ⅸ〕 次の絵画作品に関する説明文を読んで、以下の設問に答えなさい。設問１はマーク解答用紙の所定欄にマークし、設問２は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。



「明日の神話」と題するこの巨大な壁画は、画家岡本太郎が、水爆が炸裂した瞬間を描いたものである。アメリカが中部太平洋の環礁でおこなった核実験で、画中に見える日本の遠洋マグロ漁船が被爆し、乗組員が死傷したのは A 年のことであった。それをきっかけに原水爆禁止運動が高まり、パートランド＝ラッセルやアインシュタインらの呼びかけにより、核兵器廃絶を求める平和運動が始まった。

設問１ A に入る年号はつぎのうちどれか。

ア 1947 イ 1954 ウ 1963 エ 1968

設問２ 被爆した漁船の名前を記しなさい。

〔以 下 余 白〕

